

めぐみ行動日誌 (2017.1.1~3.31)

1月

- 2日 高校学年同窓会
- 3日 菊川市議会部みつ選挙事務所開き
- 4日 浜松青年会議所新年賀詞交換会
- 5日 「この世界の片隅に」シネマ&トーク
- 7日 出初め式
- 8日 曳馬地区成人式、「女城主 直虎」パブリックビューイング
- 9日 里親会餅つき 障害のある人の成人式
- ★10日 議会改革検討会議視察(広島)
- ★11日 議会改革検討会議(京都)
- 12日~13日 浜松商業高校へ遠州編プロジェクト出前講座
- 14日 縁側フォーラム(静岡)
- 15日 菊川市議選選 倉部みつよ出発式
三浦自治会新年会
- ★18日 建設消防委員会 浜松市動物園視察
- ★19日 大型スポーツ施設調査特別委員会
- 21日 中田島海岸現状調査
- 22日 頭陀寺3公像除幕式、ERIKOコンサートin頭陀寺
三楽会新年会
- 23日 浜松商業高校 遠州編プロジェクト出前講座
- 24日 浜松の福祉を考える会 はままつシャツ部企画会
- 25日 高齢者生活支援サービス展2017(東京)
- 28日 ひかりライオンズチャリティコンサート
- 29日 しずおか・子ども家庭プラットフォーム新春講演会

2月

- 1日 女性議員を増やす会なないの風 勉強会(沼津市)
遠州編プロジェクト
- ★2日 行財政改革・大都市制度調査特別委員会
浜松女性議員の会(手話勉強会)
- ★3日 建設消防委員会 原田橋視察
- 4日 チェンジメーカー養成講座
- 6日 はじめの一步プロジェクト
- ★8日 建設消防委員会 大型スポーツ施設調査特別委員会
- 9日 フェイスブック勉強会
- 10日 アメニティフォーラム(大津)
- 11日 福祉ふれあいフェア 浜松の介護の話をしよう
- 12日 グローバルフェア
磐田市議 川崎和子選挙事務所開き
- ★13日 全員協議会
- 15日 三遠南信サミット(飯田市)
- 17日 浜松の福祉を考える会 遠州鉄道との情報交換会
はままつシャツ部総会
- 18日 子どもの貧困について考えるシンポジウム(静岡市)
- 19日 スマイルフェスタ
- ★20日 2月議会本会議(初日)
- ★21日 建設消防委員会(補正予算審議)
- 22日 神久呂中学通級教室見学
民間活力導入に関する研修会
- 23日 浜松の福祉を考える会
- ★24日 議会改革検討会議
行財政改革・大都市制度調査特別委員会
- 26日 あいホールフォーラム
- ★27日 全員協議会 本会議

3月

- 1日 日本エジミウソン財団発足懇親会
- 3日 就労継続支援A型事業所 フォワード見学
- 4日 共謀罪って何?学習会
- 5日 視覚障害者福祉協会総会 浜松美術協会総会
ほっとけない!子どもの貧困
- 6日 アクティブ 遠州編プロジェクト
- ★7日 議会改革検討会議
- ★8日 全員協議会 本会議(代表質問) 政務活動費研究会
- ★9日 本会議(一般質問)
- ★10日 本会議(一般質問)
- 11日 シンエイランド卒園式 LGBT会議
ふじのくにご当地シャツファッションショー
遠州白門会
- 12日 めぐみと一緒に予算を読む会
- ★13日 建設消防委員会
- ★14日 建設消防委員会
- 16日 上島小卒業式 浜松経済同友会経済サミット
- 17日 静岡大学GS研究会
- 18日 インクルージョン研究会 ナノライト
ネットワーク会議
- 19日 三浦地区自治会総会
- 21日 福祉を考える会
- 23日 政務活動研究会 社会福祉法人復泉会評議委員会
- ★24日 全員協議会 本会議(最終日)
- 25日 いとへのまち 磐田市議芦川かずみ選挙事務所開き
- 26日 市民と議員の条例づくり交流会議(東京)

★印は議会活動
■は調査活動
○印はその他

一人ひとりのHAPPYのために

鈴木めぐみは、どの政党にも所属していません。
鈴木めぐみは、市民のための議員を目指しています。

めぐみProfile

1961年 浜松市鴨江生まれ、射手座B型
静岡県立浜松北高等学校、中央大学文学部卒業。
自動車販売会社にて、女性営業職第1号として
バンバン車を売る。長男出産後、女性、子育て、まち
づくりの市民活動に参加。
99~2011年 浜松市議会議員(3期12年)
2011年~ 子ども・若者支援のNPOスタッフ
2015年~ 浜松市議会議員(中区選出)

浜松市政向上委員会 控室
(浜松市役所7階北)

TEL/053-457-2479

浜松 Happy化計画

レポート Part2 Happy plan for hamamatsu



こんにちは。
お変わりありませんか。

鈴木めぐみは、新年度予算を審議する2月議会も全力で取り組みました。今回はその一部を報告しますね。

子育てしやすくなって
いますか。
-市民アンケートから-

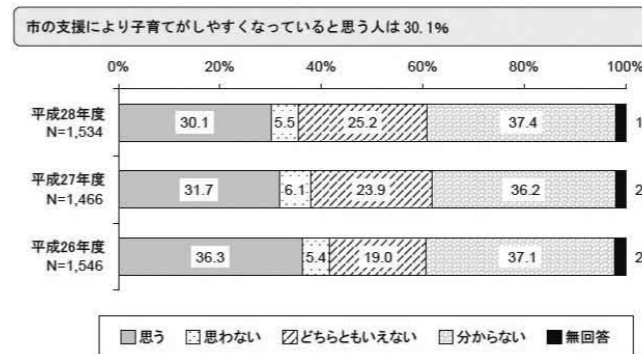


2月議会
報告

市民3000人に実施した平成28年度浜松市民アンケート(回収率51.1%)から、今どきの子育て支援状況と2月議会審議について報告する。

「子育てしやすい」と答えた人が、平成26年度50.1%あったのが、平成28年度39.7%と大幅に減っている。

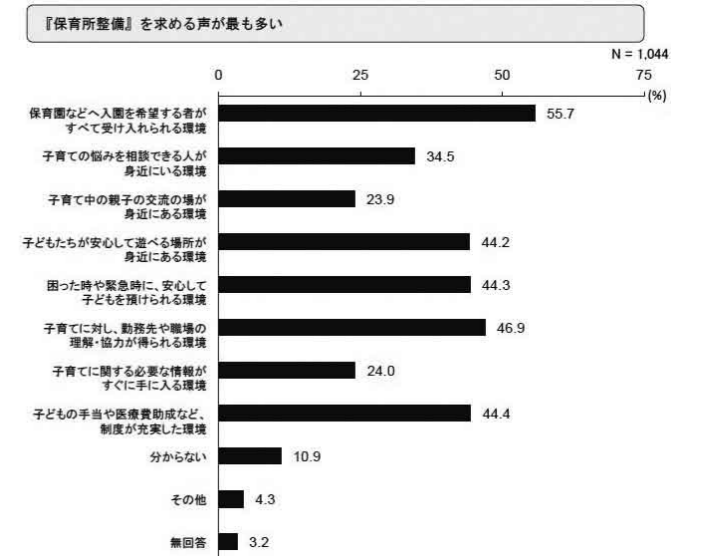
【問い】浜松市は保育所整備、親子が集う場所づくり、子どもの医療費助成など子育てに関する支援を行っている。あなたはこのような支援によって、子育てがしやすくなっていると思いますか。(1つだけ○をつけてください)



「どのような環境を整えば、子育てしやすくなったと感じるか」の回答に「保育園など入園を希望するものがすべて受け入れる環境」を挙げている。

待機児童が多い保育園や放課後児童会の施設整備での定員拡大は、最優先に取り組むべき事業だ。新年度、

【問い】どのような環境を整えば、子育てしやすくなったと感じるか。(あてはまるものすべての○をつけてください)



保育園定員850名増、放課後児童会定員764名増の予算を組んだことは評価できる。しかし、今回も「保育園落ちた!」の声は大きかった。特に第1子の1歳児は大変で、育休明け、両親がフルタイム勤務でも落ちていた。

浜松市は利用基準点方式を採用しているのだが、点数に関わらず第1希望の保育園への入園が優先されていた。それを申込者全体から基準点の高い順に入園する方法に変更していくことを検討したいと答弁があった。より公平に、そして希望する家庭が入園できるように、これからもアクションを続けていきたい。

また、放課後児童会は、補助方式と委託方式の異なる方式で運営されている。市の責任が低い補助方式を見直しすべきとめぐみは15年以上言い続けてきた。新年度から準備ができたところから、委託方式に統一するとの答弁があり、ようやく前に進むことができそうだ。

一人ひとりのHAPPYのために、必要なことは諦めずに言い続けること、これからもやっていきます。

浜松市議会議員 中区選出 鈴木めぐみ

編集・発行 めぐみ応援・浜松市政向上委員会

浜松市東区半田山 2-5-10 TEL/053-431-1511
MAIL/megu@megumi-happy.net FAX/053-544-5451
HP/www.megumi-happy.net

鈴木めぐみ自宅
浜松市中区曳馬 6-5-17
TEL/090-8672-8534



MEGU'S EYE



子育てを全力で応援する予算 になっているか？

2月議会
予算審議

「子育てを全力で応援するまち」を目指す浜松市。平成29年度予算の三世同居への補助金2900万円、婚活事業への委託金1340万円、そして子どもの貧困への配慮のない給食費の値上げについて、異議あり。

なぜ、三世同居に補助金？

子育て支援のために、三世同居か、100メートル以内の近居に対して、新築や改修に40万円の補助金を出す予算2900万円に、異議あり。

三世が一緒に住める家庭より、通勤や仕事の関係で、親が近くにせず、何かの時に子育てを助けてもらえない家庭の方が子育ての困り感は強く、そこにまず優先的に配慮すべきだ。また三世同居で、少子化対策として効果があるという調査結果はない。市の調査でも三世同居

には各家庭において様々な問題があると分析されている。子育てを全力で応援するのであれば、家族だけに頼るのではなく、社会全体で子育てや介護を支援する方向に予算を重点配分すべきだ。

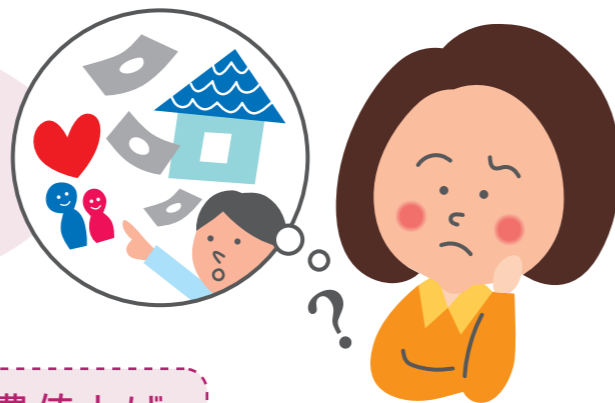
婚活イベントは公がやるべきことか。

独身男女の出会いの場を提供するイベント(160名予定)など婚活イベントに1340万円に、意義あり。

婚活イベントは、市内の民間企業、小さなお店などでも以前から多く行われている。後出しじゃんけんで市が進出してきて、市でやることだから安

心、その上安いということでは民間企業は圧迫される。成果をはかることができるのか、本当に公がやるべき事業なのか、疑問だ。

めぐみは行政が三世同居・近居や婚活推進など特定の価値観を誘導し、個人の生活意識にまで介入し、税金を投入することに強い懸念を抱いている。



子どもへの貧困への配慮のない給食費値上げ。

市が子どもの貧困について調査した結果、26.4%の家庭が貧困、または貧困予備軍だった。しかし、給食費を援助する「就学援助費」をもらっている家庭は10%以下。就学援助の受けていな

い貧困家庭に、給食費大幅値上げは家計に重くのしかかってくる。食材費補助の仕組みをつくり、貧困家庭を守るべきだ。



区の再編の議論より

区の再編などを審議する「特別委員会」に2月24日「たたき台」として二つか、三つに合区する6案が示された。「こんな区割りができま〜す」という軽さが滲んでいて、違和感を感じた。委員会で、あくまでも「たたき台である、今後は2〜7区の間で検討する」と確認して、現在継続審議となっている。

区が少なくなっても、協働センターで住民票の申請などができるから、変わらないと思う方もいらっしゃると思うけど、大きく影響する人もいます。先日、障害のある子どもさんを持つ母親に聞いたところ、様々な申請で年に最低6回は区役所に行かなくてはならないので、遠くなること困るとのこと。

めぐみは「現在の行政サービス提供体制などをゼロベースで見直す」と市が言っているのだから、まずはそこからやってもらおうじゃないかという姿勢。その上で、区をどうするか、現状維

持なのか、再編なのかを市民みんなと一緒に考えたい。

区が再編された場合、福祉関連の申請や相談は具体的にどこで、どうやるのかはまだ明確ではない。新たに「事業所」をつくっていくとまでだ。現在、どんな申請や相談が区役所の窓口にあるのか。今の人員で足りているのか。再編した時、それができる体制なのか、また市民が気軽に行ける場所を設定できるのか。さらに事業所に行けない人には訪問して申請や相談を受けるシステムになれるのかどうか。介護保険の圏域と障害者福祉の圏域が違うことなどはどうしていくのか。地域福祉の圏域をどうしていくのかなど、検討しなくてはならないことが山盛りだ。

市は、今年の9月までに新たな行政区、行政サービスのあり方を示すとの意向だが、果たしてできるのだろうか？

区の再編への意見、お待ちしております。

区再編の基本的考え(平成27年2月24日提出) ※人=人口

2区	A案	中、東、西、南、北、浜北	77万人	3区	D案	中、東、西、南、北、浜北	58万人
		天竜	3万人			天竜	3万人
	B案	中、東、西、南	58万人	E案	中、東、南、浜北	57万人	
		北、浜北、天竜	22万人		西、北、天竜	20万人	
	C案	中、東、西、南、北	67万人	F案	中、東、西、南、北	67万人	
		浜北、天竜	13万人		浜北、天竜	10万人	
						3万人	

- 合区が基本
- 旧浜松は可能な限り統合
- 区の出先機関の充実



新年度は計画策定ラッシュ

多文化共生都市ビジョン、男女共同参画計画、障害者計画、はままつ友愛の高齢者プラン(高齢者、介護保険)、がん対策推進計画、立地適

正化計画、食育計画、そして、区再編。区の再編とほかの計画と有機的に繋がっていません。

数字は語る！

13.9%

浜松の空き家は4902戸で空き家率は13.9%。全国平均13.5%より高い。

3455戸

開発を規制する市街化整区調整区域に平成21年度から建てられている新規住宅数。